

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、基礎的な知識・技能を習得するとともに、それらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育く。また仲間と共に生きる豊かな心とたくましい身体を育むことと、一人一人の自己実現を図る。

2 重点目標

校訓に基づく、目指す生徒像の実現に努める。

目指す生徒像

- 1 自己の将来について具体的な目標を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
- 2 理性と感性のバランスがとれ、自律的な学校生活を送る生徒
- 3 違いを認め合い、共に伸びていこうとする生徒

3 評価項目

評価項目	達成状況	評価の理由
(1) 学校経営の重点	A	教育課程の編成、安全対策や家庭・地域との連携は充実してきた。校種間連携をさらに深める必要がある。
(2) 学習指導の重点	B	個に応じた学習指導や読書指導は充実してきた。生徒の適性に応じた進路指導もできている。ICT機器を活用した授業を増やし、道徳・人権教育をさらに推進する必要がある。
(3) 生活指導の重点	A	家庭訪問をはじめ、家庭と連絡を密にとることにより、生徒・保護者・教師相互の信頼関係が築かれ、生活指導が適切に行われている。 今後は基本的生活習慣の確立を目指したい。
(4) 保健管理・指導の重点	A	校内美化をはじめ、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう環境整備に努めた。生徒自らが自身の健康を増進する態度を養っていきたい。
(5) 研修の重点	B	研究授業や授業研究の実施により、指導力の向上に取り組んできた。相互授業参観などを行い、さらなる資質向上に努めたい。

4 次年度への改善点

1. 研究授業や防災研修などの各種研修を充実させる。
2. 道徳教育・性教育についての研究を重ねる。
3. 不登校などの生徒指導上の課題への対応を充実させる。
4. 小中連携をさらに深める。
5. ICT機器の活用や机などの教育環境を整備する。